

10. 発表業績

10.1 誌上発表

題名	著名	雑誌名
Geosmin-producing Species of <i>Coelosphaerium</i> (Synechococcales, Cyanobacteria) in Lake Shinji, Japan	T. Godo ¹⁾ , Y. Saki ^{1),*} , Y. Nojiri ^{1),*} , M. Tsujitani ²⁾ , S. Sugahara ³⁾ , S. Hayashi ⁴⁾ , H. Kamiya ^{1),*} , S. Ohtani ⁵⁾ & Y. Seike ³⁾ 1) 島根県保健環境科学研究所 2) 鳥取大学大学院連合農学研究科 3) 島根大学大学院総合理工学研究科 4) 島根大学生物資源科学部 5) 島根大学教育学部	SCIENTIFIC REPORTS, 7:41928, DOI:10.1038/srep41928
汽水湖宍道湖における高頻度現場調査から観測された堆積物からの窒素・リンの溶出	神谷 宏 ^{1,2)} ・管原庄吾 ³⁾ ・嵯峨友樹 ¹⁾ ・野尻由香里 ¹⁾ ・江角敏明 ¹⁾ ・神門利之 ¹⁾ ・大城 等 ¹⁾ 1) 島根県保健環境科学研究所 2) 島根大学汽水域研究センター 3) 島根大学大学院総合理工学研究科	陸水学雑誌77:305-313 (2017)
公共用水域における有機物指標としてのTOCの重要性	佐藤紗知子 ¹⁾ ・嵯峨友樹 ¹⁾ ・江角敏明 ¹⁾ ・野尻由香里 ¹⁾ ・崎 幸子 ¹⁾ ・嘉藤健二 ¹⁾ ・管原庄吾 ²⁾ ・神谷 宏 ^{1,3)} 1) 島根県保健環境科学研究所 2) 島根大学大学院総合理工学研究科 3) 島根大学汽水域研究センター	陸水学雑誌78:59-65 (2017)
堆積物直上水の貧酸素化の原因と水質への影響	神谷 宏	水環境学会誌VVol. 39(A)No. 8 (2016) p. 279-282
ウズラ卵が原因食品と推定された <i>Salmonella enterica</i> serovar 4, [5], 12:i:-による食中毒の発生とウズラ卵のサルモネラ汚染状況調査	Kawakami Y. ¹⁾ , Hara A. ²⁾ , Kawase J. ¹⁾ , Kurosaki M. ¹⁾ , Tsunomori Y. ¹⁾ , Hayashi F. ¹⁾ and Murakami Y. ¹⁾ 1) 島根県保健環境科学研究所 2) 島根県浜田保健所	日本食品微生物学会雑誌 Vol. 33 (3).160-165.2016

10.2 学会・研究会発表

公衆衛生関係(全国、中国地区)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H28. 10. 22 ～23	島根県における日本紅斑熱の発生状況およびマダニの病原体保有調査	三田 哲朗	平成28年度獣医学術中国地区学会	
H28. 10. 29 ～30	島根県における日本紅斑熱、ツツガムシ病およびSFTSの発生状況	藤澤 直輝	第71回日本衛生動物学会西日本支部大会	

公衆衛生関係(県内)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H28. 7. 29	島根県における日本紅斑熱の発生状況およびマダニの病原体保有調査	三田 哲朗	平成28年度島根県獣医学会	

環境科学関係(全国、中国地区)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H28. 9. 7 ～ 9	島根県における光化学オキシダント濃度の経年変動	藤原 誠	第57回大気環境学会年会	講演要旨集 p. 176
H28. 9. 7 ～ 9	PMF法を用いた島根県におけるPM2.5発生源の推定	佐藤 嵩拓	第57回大気環境学会年会	講演要旨集 p. 368
H28. 9. 7 ～ 9	島根県におけるPM2.5濃度の季節的な汚染特性について	船木 大輔	第57回大気環境学会年会	講演要旨集 p. 401
H28. 11. 17 ～18	島根県における微小粒子状物質(PM2.5)濃度の特徴について	浅野 浩史	第43回環境保全・公害防止研究発表会	講演要旨集 p. 4-5
H28. 11. 3 ～ 6	斐伊川放水路による宍道湖へ流入する栄養塩負荷の削減	神谷 宏	日本陸水学会第81回大会	講演要旨集 p. 102
H28. 11. 3 ～ 6	宍道湖のシジミ中の脂肪酸組成	嵯峨 友樹	日本陸水学会第81回大会	講演要旨集 p. 122
H28. 11. 3 ～ 6	汽水湖中海の底層におけるアナモックス反応に関する研究	加藤 季晋	日本陸水学会第81回大会	講演要旨集 p140

環境科学関係(県内)

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
H28. 7. 4	宍道湖で優先する植物プランクトンの増殖試験について	崎 幸子	第57回島根県保健福祉環境研究発表会	抄録集 p. 41-42
H28. 7. 4	島根県で観測されるPM2.5の発生源寄与割合の推定	佐藤 嵩拓	第57回島根県保健福祉環境研究発表会	抄録集 p. 43-44

10.3 研究発表会

第31回島根県保健環境科学研究所・島根県原子力環境センター研究発表会

開催日 平成29年2月3日
場 所 保健環境科学研究所
参加人員 70人

演 題	発 表 者
植物プランクトンの脂肪酸量・脂肪酸組成の違いがヤマトシジミへ及ぼす影響	嵯峨 友樹（水環境科）
島根県で観測されるPM2.5の特徴と発生源種類の推定	佐藤 嵩拓（大気環境科）
島根県土壌中におけるプルトニウム蓄積状況調査	金山 隆（原子力環境センター）
島根県における自死の現状について	古割 加奈（総務企画情報課）
乳児における腹部膨満、網状紅斑症状からのウイルス検出について	藤澤 直輝（ウイルス科）
島根県における腸管出血性大腸菌O157感染症の発生状況とClade解析の応用性の検討	林 芙海（細菌科）

10.4 平成28年度集談会

回	年月日	演 題	演 者
561	H28. 4. 21	島根県の脳卒中の現状について ルミネセンスについての話 波動の話（電磁波とγ放射線、おまけで重力波） 島根県におけるPM2.5の大気環境濃度について	古割 加奈 倉橋 雅宗 田中 孝典 藤原 誠
562	H28. 6. 16	出生コホート別残存歯数の推移 福島は今 ワクチンを知ろう！	大城 等 西 浩幸 三田 哲朗
563	H28. 7. 21	リケッチア症と臨床所見 平成28年熊本地震に係る益城町災害派遣保健チームの活動について 中海のアナモックス反応について	滝元 大和 松尾 豊 加藤 季晋
564	H28. 8. 18	SFTSの血清学的診断法の開発 エイズの現状とその問題 島根県で観測されるPM2.5の発生源の寄与割合と位置の推定～PMF法とCPF法を使って～	福間 藍子 辰己 智香 佐藤 嵩拓
565	H28. 9. 15	赤腹地蔵 腸管出血性大腸菌による食中毒 宍道湖カビ臭てん末記 –インパクトファクター5.5の雑誌への挑戦–	黒崎 守人 角森 ヨシエ 神谷 宏
566	H28. 10. 20	本県における自死の現状 島根県で分離された腸管出血性大腸菌O157のClade解析とClade推定法の検討（中間結果） 島根県における微小粒子状物質（PM2.5）の特徴について 宍道湖で優占する植物プランクトンの競合試験について	古割 加奈 林 芙海 浅野 浩史 崎 幸子
567	H28. 11. 17	福島第一原発等視察報告 微小粒子状物質調査の取組状況 いろいろな湖	山根 宏 船木 大輔 嵯峨 友樹
568	H28. 12. 15	1秒Ge走行サーベイ 島根県における光化学オキシダント濃度の経年変動 HMPVについて	生田 美抄夫 藤原 誠 和田 美江子
569	H29. 2. 16	県内流通するシイラ、カンパチの細菌、粘液胞子虫による汚染状況調査 本庄工区（水域）はどこへ向かうのか？ ブルサーマルの概要について 確率と無限の小話	川上 優太 狩野 好宏 金山 隆 田中 孝典
570	H29. 3. 16	春夏秋冬（旅行） 放射線測定器の設置 ストロンチウム90について	沖原 次郎 倉橋 雅宗 渡部 奈津子

10.5 保環研だより

No. 151 2016年5月

1. エンテロウイルスD 6 8型の流行
2. 腸チフスについて
3. 植物プランクトンにズームイン
4. 4 Kの放射線測定
5. 学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表

No. 152 2016年10月

1. ヒラメによるクドア・セブテンプンクタータ食中毒が発生しています
2. RSウイルス感染症について
3. 宍道湖で発生する植物プランクトンの脂肪酸

4. オゾンの植物影響に関する濃度評価指標について
5. 空間放射線の測定機器
6. 学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表

No. 153 2017年1月

1. 島根県におけるヒトパレコウイルス3型の流行について
2. もっと知ろう！結核のこと
3. 宍道湖で発生する植物プランクトンの脂肪酸(2)
4. 島根県における大気環境中の揮発性有機化合物濃度について
5. 平成28年度島根県原子力防災訓練を実施しました
6. 学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表